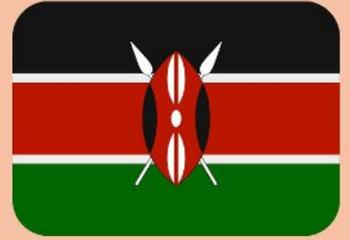


# Pole Pole ケニア通信

2025.4



JICA 海外協力隊(環境教育) 和田温子

こんにちは！今回は【掃除と洗濯】について紹介します。

## モップ掃除は力が必要

ケニアの掃除方法は日本と比べると、とてもシンプルです。一般的な掃除用具はモップです。木の長い柄に、綿の長い糸が房のようについている普通のモップです。停電がよくあるケニアでは、モップを使うことが一番経済的で信頼できる掃除方法です。ほとんどの場所で、床がタイルであるため、モップをかけやすい環境でもあります。モップを絞る部分が付いたバケツとセットで使用します。掃除の仕方は簡単で、バケツに水、洗剤を入れて、それに浸したモップで床を掃除するだけ。乾くまで時間が必要ですが、気候の良いケニアではしばらく待つとすぐに乾きます。基本的に掃除は女性の仕事とされていますが、水の入ったバケツを運んだり、水を吸って重たいモップで床を拭いたり、モップを絞る作業も力が必要なので、ケニアの女性のたくましさを感じます。私も自分の家はモップを使って掃除をしています。慣れるまでは、なかなか大変な作業でした。最初のうちは、モップだけできれいになるのか疑問でしたが、このように水拭きで頻繁に掃除をするケニアは日本と同じくらいきれいだと感じます。また、ケニア人の性格もとてもきれい好きだと思います。学校では、子どもたちが掃除を担当します。モップの代わりに大きい雑巾を水で浸して、後ずさりしながら両手を使って床を拭きます。汚れたら雑巾を洗って、それを繰り返します。

モップをかける前に、ほうきを掃き掃除をすることもあります。ケニアで使うほうきは ufagio と呼ばれる、乾いた葉を束ねた自然素材の手作りのもので、50 円ほどで購入できます。床と並行に滑らせるようにして使用します。想像しているよりも、ごみをしっかりと集めることができます。また、ケニア人はその辺りに生えている木を適当に切って、ほうきを手作りすることができます。彼らは器用に何でも手作りするの、すごいと感じています。

## 洗濯は手洗いで、脱水はなし！

ケニアで洗濯機を使用している人は少数です。洗濯機は売っていますが、水道や電気の供給が不安定なケニアでは一般的ではなく、家も洗濯機を設置する造りになっていません(排水の問題等)。私の周りの人々も、洗濯機を持っている人はほとんどいません。そのため、手洗い洗濯が主流です。スーパーには「手洗い用」と「洗濯機用」の2種類の洗濯洗剤(パウダータイプ)が売っています。また、長い固形石鹼の洗剤もあり、これは汚れを集中的に落とすために使用します。ケニア人のお母さんが何本も買っているのを見たことがあります。

私も現地の人々に合わせて、手洗い洗濯をしています。大きいらいに水と洗剤を入れて、手で洗うだけです。柔軟剤も入れて何回かすすいだ後、干します。この時、脱水は軽く絞るだけで、ほとんどしません。洗濯ロープに干すと、ぼたぼたと雫が落ち、周りは水浸しになりますが、これが日常の風景です。ケニアの気候は湿度がなく、乾いているため、これでも1日で洗濯物は乾きます。手洗い洗濯、と聞くと面倒なイメージですが、慣れてしまうとそんなに苦ではありません。また、私は乾きやすく洗いやすい服装を選ぶようにしています。一度、毛布を洗いましたが、水を吸って重くなった毛布を絞るのも、

ロープにかけるのも大変で苦労しました。しかし、ケニアの女性は家族全員分の洗濯物、ブランケットやカーペットもあつという間に洗ってしまうので、とてもたくましいです。また不思議なことに、洗濯物を外に干したままにする人が多く、雨が降ってもそのままにして無理に取り込もうとせず、また乾くまで干すという場面をたくさん見えています。色々なことに寛容な姿勢にはいつも驚かされます。



掃除と洗濯はケニア人にとっても、時間のかかる作業であるため、人に頼むことも多いようです。クリーニング業者に近い感じで、掃除と洗濯を仕事とする女性たちがいて、彼らは通称「洗濯おばさん」と呼ばれています。私の同僚にも、仕事をしている間に家の掃除や洗濯をお願いしている人がいます。1回につき、500円ほどだそうです。ある程度、収入のあるケニア人は必要に応じて利用している印象です。